

議会を知ろう！～中学校出張ぎかい～

実施報告書

足利市議会

2024年1月

1 実施概要

(1) 目的

中学3年生が、公民の授業で地方自治について学習するこの機会に、市議会議員自らが外部講師として議会の仕組みや議員の役割について説明することにより、生徒の地方議会に対する興味・関心を高めようとするものであり、生徒がワークショップを行い、まちづくりについて考えることをとおして、市議会への理解を深めることを目的とします。

(2) 実施日程・実施校（全23クラス）

令和5年7月の中学校校長会において市内全11校に依頼をしたところ、7校の23クラスから受入れがあった。

- ・11月 1日（水） 第二中学校 3クラス
- ・ 9日（木） 富田中学校 1クラス
- ・ 10日（金） 愛宕台中学校 2クラス
- ・ 14日（火） 西中学校 4クラス
- ・ 21日（火） 協和中学校 5クラス
- ・12月 7日（木） 第一中学校 2クラス
- ・ 8日（金） 山辺中学校 6クラス

(3) 実施内容

各クラスにおいて、市議会議員が3名一組となり、DVD動画の視聴後、「もしあなたが市長だったらどんなまちを目指しますか？」を基本テーマとしたワークショップを実施した。

2 実施結果

(1) 実施日及び参加者数等

校名	実施日時	参加人数 (クラス数)	担当議員 (0数字は担当クラス)	傍聴 議員	取材
二中	11月1日(水) 【5時間目】 13:50~14:40	73名 (3)	①石野、中島、黒川 ②鬼久保、藤本、須田 ③海老沼、鳥井、渡辺	・山本 ・小沼 ・金子	—
富田	11月9日(木) 【3時間目】 10:30~11:20	23名 (1)	①三田、小林、横山	—	—
愛宕台	11月10日(金) 【5時間目】 13:30~14:15	34名 (2)	①山本、末吉、斎藤 ②飯島、鶴貝、栗原	・糸谷	・読売新聞

校名	実施日時	参加人数 (クラス数)	担当議員 (〇数字は担当クラス)	傍聴 議員	取材
西	11月14日(火) 【1時間目】 8:55~9:45 【2時間目】 9:55~10:45 【3時間目】 10:55~11:45 【4時間目】 11:55~12:45	144名 (4)	①飯島、斎藤、栗原 ②三田、小林、横山 ③小沼、金子、尾関 ④石野、中島、吉田	・須田	—
協和	11月21日(火) 【6時間目】 14:30~15:15	145名 (5)	①山本、鶴貝、末吉 ②鬼久保、藤本、須田 ③海老沼、鳥井、渡辺 ④小沼、金子、尾関 ⑤糸谷、荻原、黒川	—	—
一中	12月7日(木) 【1時間目】 8:40~9:30	48名 (2) (合同)	三田、小林、横山 飯島、鶴貝、栗原 糸谷、吉田、荻原	—	・下野新聞
山辺	12月8日(金) 【5時間目】 13:30~14:20 【6時間目】 14:30~15:20	157名 (6)	①石野、中島、黒川 ②山本、末吉、斎藤 ③鬼久保、藤本、須田 ④海老沼、鳥井、渡辺 ⑤小沼、金子、尾関 ⑥糸谷、吉田、荻原	—	—
	7日間	624名 (23)	延72名 (1クラス3名体制)	延5名	2社

(2) 授業後の生徒のアンケート結果

624人から回答をいただき、以下は主なものを記載しました。

①授業を受ける前の市議会や市議会議員に対する印象

- ・とても頭がよくて私たちとは程遠い存在。真面目なイメージ。
- ・真面目で、頭が良く、静か。必要のないことは話さないというイメージ。
- ・年配の方ばかりで、40代、50代、60代の方が多く、男性が多いイメージ。
- ・市のリーダーの人たちであるため、少し怖い印象を持っていた。
- ・選挙の時はよく見るけど、当選した後は何をやっているのか知らない。
- ・いつも何をやっているのか分からない人たち。
- ・そこまで足利市がよくなったと思うことが少なく、どのようなことをしているのか知らなかった。

- ・市議会議員は市議会ではどのようなことをしているのか分からなかった。
- ・堅苦しくて怖い。口論が強そう。厳しそう。
- ・自分からは遠い存在で、自治体の方針を決めたり、運営したりしている人たち。
- ・自分には理解できない、とても難しいことをしている場所や人であるというイメージ。
- ・ぴりぴりとした雰囲気の人だと思った。
- ・とても真面目で堅苦しいような、しっかりとしている印象で、自分の意見や考えがすぐ出てくるような人だと思った。
- ・難しくて大変そうな仕事。忙しそうな仕事。
- ・市役所にはおとなしい人しかいないイメージ。
- ・もっと固く、かしこまった人が多いと思っていた。また、足利の公共事業などを中心に活動している人たちだという印象だった。
- ・足利市のことに関して、いろいろな議論を交わし、政策をするという印象。持論を展開するのが得意な印象。
- ・規則やルールを細かく覚えており、それを守っているという印象。
- ・厳格なイメージ。
- ・厳しくて細かい人たち。
- ・私たちが直接話すことのできない人たちというイメージ。
- ・あまり笑わないイメージ。
- ・国会で居眠りをしている姿をテレビで見るため、いい印象を持っていなかった。
- ・ずっと足利市に住んでいて、足利市のことをよく知っている年配の方が市議会議員をやっているイメージだった。市長の名前は出てきても、市議会議員の名前はあまり聞かないし、知らなかったため、何をしているのだろうと思っていた。
- ・年齢が高く、声が大きくて、少し怖い人が多いという印象を持っていた。
- ・市の偉い、少し悪い人だと思っており、いいイメージはなかった。
- ・人を従えているイメージ。
- ・政治家の言うことやすることなんて一部の人たち以外は大体どうしようもないという印象を持っていた。
- ・表裏のある人。
- ・短気な人が多そうなイメージ。
- ・傲慢で雰囲気が怖い人と思っていた。テレビでも議員の汚職や失態などがほとんどであり、ネットでも悪い印象しかなかった。
- ・議会を知るまで、議会のことなど考えてもみなかった。
- ・興味がないため、何とも思っていなかった。
- ・自分にはあまり関係ないと思っていた。

- ・中学生には分からないような難しい話やお金がどうのこうのといった話をされるのかと思った。
- ・周りをボディガードに囲まれているイメージ。
- ・自分の意見を意地でも貫き通しているイメージ。市民の意見は一応聞いているが、宇都宮市など有名な自治体にはお金をかけて、それ以外の自治体は後回しにしているイメージ。
- ・親に言われたりして、小さい頃から市議会議員になるために勉強ばかりしてきた頭の固い人だと思っていた。また、そんな人だから地位につくことを誇りに思っていて、私たちの問題を表面的にしか見ていない人だと思っていた。
- ・忙しすぎて寝不足の人が多というイメージ。
- ・面白くない人という印象
- ・国会議員とどのように異なるのか分からない。
- ・休みが全くない仕事。
- ・市民を第一に考えている人たち。大変だけどやりがいのある仕事。積極性がありリーダーシップを発揮できる方が多い印象。
- ・足利市をよりよい町にするために考えてくれる人。
- ・町のことをいろいろとやってくれている人たち。
- ・地域をよくするために、活動してくださっている人。
- ・足利市を安全で住みやすい町にしてくれている人たち。
- ・市民の要望を聞き、実現してくれる人。
- ・みんなで熱く語り合っているイメージ。
- ・何でも知っていそう。
- ・市をよりよくするための会議を行っているという印象。また、みんな真面目で優しいという印象。

②授業を受けた後の感想など

- ・足利市のために、小さなことでも真剣に考えて実行できるのがすごいと思った。
- ・若い方もいて、足利市がなぜ山姥切国広を買ったのか分かった。
- ・初めはあまり市議会や議員について知らなかったが、授業を受けて、市議会についてよく知ることができた。市議会や市議会議員についての知識が持てるようになって感謝している。
- ・自分が思っていた以上に身近にいる存在だということにびっくりした。市議会の人たちがすごく優しく話しかけてくれたので、緊張することなく話すことができよかった。知らなかったこともいろいろと学ぶことができた。

- ・市議会議員の人たちはどのようにしたら足利市がよくなるのかをよく考えていることが分かった。自分たちが気がつかないうちに、足利市は少しずつよくなっていることを知った。
- ・足利市に必要なことは何かを考えたときに、実現できるものと難しいものがあることに気づきました。
- ・授業を受けて、とても優しく、明るく話してくれて、授業を受ける前の印象と授業を受けてからの印象ががらっと変わった。
- ・市議会の主な仕事内容が分かった。
- ・足利のためにできることをしてくれているのだなと思った。
- ・市議会議員の人たちが優しく、中学生の私たちにも分かるように丁寧に説明してくれた。
- ・若い人も市議会議員になっていてすごいと思った。話してみると意外と身近に感じられた。
- ・市議会議員の方と実際に会って話をすると、より足利市のことを知ることができ、とても楽しかった。自分の町のことについて考えることは大切だと思った。
- ・市議会議員の方々と会える機会はそうそうないと思うため、貴重な体験ができた。
- ・足利市の政治について楽しく知ることができた。市議会議員と話ができたことで、イメージが変わり、身近な存在だと感じた。
- ・とても優しく、明るかった。議会について詳しく知れてよかったし、今まで知らなかったことを知ることができてうれしかった。
- ・とても興味深い時間だった。
- ・足利市にゆかりのある刀を買ったりとユニークな活動で足利市をよくしようとしていることなどを知ることができた。
- ・今後の足利市について話してくれてうれしかった。公園や遊園地をつくろうとしても、場所などのいろいろな問題があって、まちづくりは難しいなと思った。
- ・よりよい活気のある町にするために、いろいろな政策を市議会議員の人たちが話し合っていて決めていくことが分かった。
- ・3人の議員さんたちがとても面白くて、場を盛り上げてくれ、とても楽しく取り組むことができた。また、市議会では足利市をよりよくするために、たくさん意見を出して、頑張ってくれていることが分かった。実際に班のみんなで意見を出し合ってみて、意見をまとめたりすることは、とても大変なことだと知り、議員さんたちはすごいと思った。
- ・話し方がはきはきしていてとても聞き取りやすかった。自分が市長になったらなんて考えたこともなかったので、よい経験になった。
- ・自分の意見を相手に明確にし、分かりやすく発言できる人だと思った。

- ・今回のワークショップをきっかけに市議会や議員さんの印象が180度変わった。そして議員さんが足利市や私たちのことを真剣に考えていることに気がついた。私は今回訪れてくださった議員さんにあこがれを持った。
- ・全く怖くなく、とても優しい方々だと思った。また「もし自分が市長になったら、どんな町にしたいか」では、グループを通して、足利にはどんな問題があるのかや、足利のよいところなどを改めて知ることができた。それらを踏まえ、これからの生活に生かせたらいいなと思う。とても楽しかった。
- ・ワークショップを盛り上げようと、企画内容を真剣に考えたり、みんなのいろいろな意見を否定せずに、誉めたり、肯定したりと、とても優しい方たちだと思った。時間を測って進めたり、終わりのチャイムと同時に締め挨拶が終わってすごいなと思った。自分たちの班でみんなと発言内容を考えたり、発表したりするのはすごく楽しかった。
- ・厳格なイメージだったが、授業を受けてみたら、そんなことはなく、優しい雰囲気の人たちだと思った。そのおかげで授業も楽しく受けられた。
- ・足利市をもっとよくしていきたいという気持ちが伝わってきた。
- ・まちをよくするために働いているんだなと思った。
- ・楽しく関わられた。気軽に話しかけたり、笑顔で話しかけてきたりとイメージとは全く違った。
- ・市議会議員のおかげで中学校が綺麗になったりしているのだと知った。
- ・男性が多く、年配の方が多いイメージだったが、若い方や女性もいた。
- ・とても活気に満ちている人たちだと思った。
- ・自分たちの意見だけでなく、いろいろな人の意見を聞き、よい町をつくってくれるサポートをしてくれている人たちであり、すごいと思った。
- ・今回の授業ではどんなことがしたいかアイデアがたくさん挙がったが、その案が実際に政策になるまでに、いろいろな会議が行われるということが分かった。案はすぐに決定されると思っていただけ驚いた。自分たちで出した案をテーマごとにまとめるのは初めてで戸惑ったが、よい経験になった。
- ・自分たちが提案したことが本当に実現したら、いろいろと便利な町になると思った。
- ・議会の方々のおかげで、自分が住んでいる町を変えられたり、新しくできたりしているんだなと思った。また、議会を知ることができたので、自分が住んでいる町を変えたいときに相談することができるなと思った。
- ・足利市をよりよくしようと考えていたり、私たち市民の生活をよいものにしようと考えていて、素敵な仕事だと思った。
- ・指示がてきぱきしており、仕事ができる人だと思った。

- ・グループ学習を通して話し合いの大切さや問題解決の難しさを知ることができた。これを毎日、町の人のために一生懸命話し合ってくれている議員さんはすごいと思う。
- ・市議会では具体的にどのような仕事を行っているのかを、映像で詳しく知ることができた。
- ・意外と市民の方々から信頼があるんだと思った。民間人と信頼関係を築いていることが分かった。
- ・自分も将来地元の人たちを笑顔にさせられるような地域活動をしたと思った。
- ・議員さんは市民の意見をたくさん取り入れてくれる方々だと思い、とてもありがたい存在だと思った。すごくかっこいいと思った。
- ・住民の意見は取り入れていきたいが、財政的にできないことがあるなどを知った。
- ・めっちゃいい人。市民のために全力を尽くしてくれていた人。善人。愛しています！これからも頑張ってください。応援中。
- ・これからも足利市をよりよい町にするために、よろしく願います。頑張ってください。
- ・県内一女性が多い議会ということで、うらやましいと思った。人数が少ないと思った。
- ・ニュースで見た居眠りをしている議員は、その人がそのような行動をしているだけであって、全員がまともじゃないわけではなく、まともな人はたくさんいるのだと思った。足利市の議員はとてもまともであると感じた。
- ・授業でたくさん意見を出すことを頑張った。
- ・見かけたら声をかけてくださいねと言われてうれしくなった。
- ・すごく優しくてユーモアがあった、難しいイメージが覆った。一つ一つの意見に寄り添ってくれたり、「いいね」と言ってくださってすごくうれしかったし、楽しかった。200件以上の仕事があって大変だとおっしゃっていたので、私たちも市民の1人としてできることがあればいいなと思った。
- ・自分たちの意見を否定されるのかと思っていたが、全くそんなことはなく、ネタも分かってくれて楽しかった。
- ・足利市にはのびしろがたくさんあると思った。
- ・私たち市民のために、様々なことを話し合ったりしていることを知り、とても安心し、市議会に興味を持ちました。
- ・一番重要な任務をしてくれていることを知った。
- ・市長って大変なんだと思った。
- ・市長も1人の人間であるため、市議会議員の意見（熱意）を全て受け継ぐことはできないのだと知った。

- ・私たち住民もこの足利市をもっとよい町にしたいという気持ちは同じであるため、議員の方たちと協力して改善していけたらよいと思う。
- ・難しい話をされるのかと思っていたが、自由な感じの話し合いでとても楽しかったし、「私たちが出した案が参考になってしまうのではないか」と身近なものとして捉えることができた。私たちの意見は軽い感じで漏れがあると思うが、テーマパークや道路・交通の整備など、どんどんよりよいものにしてほしい。
- ・市議会にも委員長と副委員長がいて、私たちと同じだなと親近感を持った。
- ・案外市のことを考えるのは難しいと思った。何かアイデアが出ても、そこから多くの問題が出たりして、考えるのが大変だと思った。
- ・私たちの力でこれからの足利市をもっと活気あふれる町にしていきたいと思った。
- ・政治について少し興味を持てた
- ・上下関係があるのかと思ったが、議員同士で仲がよかった。
- ・実際の話し合いの様子を見たいと思った。
- ・同じ番組を見ている議員さんがいて親近感がわいた。
- ・社会は苦手だが、今回の授業で法律や議会の仕組みなどを教えてくれたおかげで社会が少し分かったような気がした。
- ・足利市は思ったよりも改善点が少ないと思ったが、施設を増やしてほしいという意見が多かった。
- ・質疑応答で給料を隠さないところがよいと思った。
- ・建物を建てるのが簡単ではないことがよく分かった。
- ・時間厳守なんだと思ったが、厳守し過ぎだと思った。
- ・少し時間が短く感じた。
- ・税金をしっかりと使っていて安心した。
- ・中学生らしい子供っぽい意見にもいろいろと話をしてくれて、とても楽しかった。
- ・中学生相手にも関わらず、細かい説明をしてくれた。
- ・自分の案が何か悪いほうに働いてしまうのではないかと感じ、私には荷が重いと感じた。
- ・よい政策などと言われると考えを出しにくい。

②ワークショップについて

- ・時間にストイックで、自己紹介でも話す時間が決まっていたことがすごいと思った。
- ・市議会議員の方々がしていることや、市議会での大まかな仕組みを疑似的に体験できたので、議会が少し身近なものに感じられた。

- ・最初から面白く、楽しく授業を受けられ、あだ名なども付けて、名前も覚えやすく、時間で区切られているので、集中して考えることができ、とてもいい授業だった。時間があっという間に過ぎていった。
- ・1ステップごとに時間制限があるので、とても難しかった。質問に対して返答することがいかに難しいかが分かった。時間ちょうどに終わってすごいと思った。
- ・自分のグループ以外の意見も聞くことができ、よかった。
- ・付箋にアイデアを記入して意見をまとめるやり方をもっとやりたいと思うようになった。
- ・ワークショップをすることで自分の意見が班のみんなに伝わった。また新しい意見を聞くことができたのでよかった。
- ・自分の意見を書くのが楽しかった。もっと授業をやりたかった。
- ・ワークショップで出た案や意見を参考にしてもらいたい。
- ・最初はどんな意見を書こうか迷っていたが、一つ自分の意見を書いたら書きたいことがいっぱい浮かんで、もっといろいろな意見を書きたくなった。
- ・時間を守ることの大切さが分かった。
- ・私が思っている理想の町について書き出すのがすごく楽しかった。
- ・自分たちで案を出すのは難しかったが、よい経験になった。
- ・ワークショップをやって足利市に興味を持った。
- ・あまり意見を出すことができず、町を改善することは簡単ではないことがよく分かった。
- ・学校の授業とは違い、みんなで話し合うことで意見交換ができ、話し合いがたくさんできた。意見を出し合うのが楽しかった。
- ・市議会のことについては、小学校のころから興味があったが、今日の授業を受けてもっと興味が湧いた。

③若者の政治参加について

- ・選挙に行くことにより、市をよりよくしてくれる人を選べるので、自分も18歳以上になったら、選挙に行こうと思った。
- ・私も選挙で投票してみたいと思った。
- ・市議会議員の方たちの雰囲気明るくて親しみやすいと、選挙にも行きやすくていいと思った。
- ・18歳になれば選挙権を持つことができるので、足利市をよりよくするためにいろいろ考えたい。
- ・今回の授業を通して、選挙権を手にしたら投票しに行こうと思った。
- ・自分の意見も入れるために選挙に行くことは大切だと思ったため、18歳になったら選挙に行こうと思う。

3 先生の所見

中学校出張きかい全般について、お気づきの点を自由にご記入いただきました。以下、その内容について記します。

- ・議員が来てくれたので、臨場感を持って足利市の将来について考えることができました。
- ・この度は貴重な機会を頂き、ありがとうございます。生徒たちは思った以上に足利の未来についてよく考え、話し合いができていたように感じ、普段の授業ではなかなかできない学びをすることができたように思います。
- ・実際の議員さんに初めて会う生徒も多く、議員さんの印象が変わったという声を聞きました。市議会が何のためにあり、どのような仕事をしているのか興味を持ち、身近に感じられる企画だと思います。
- ・大変お世話になりました。生徒がグループワークを盛んに取り組めてよかったと思います。市議会と聞いてお堅いイメージが強く、身構える子もいたのですが、振り返りシートなどを読むと「とても身近に感じられた」という意見も多く、行政のことを知る機会としてはよかったと感じました。
- ・議会について興味を持つよい機会だった。
- ・グループワークにより子どもたちの活動もスムーズに進み、多くの意見が出ていた様子でした。
- ・議員さんの生徒に対する接し方やお声かけが丁寧で、子どもたちは信頼感を感じていました。
- ・授業の時間だけでは足りなかったようで、振り返りシートや帰りの会等で議会に対する興味や疑問を持った生徒がいました。
- ・議員さんってどんな人、何を話せばいいの、なんて不安から始まった様子でしたが、話し合いの中で、生徒達は今の足利、これからこんな街になったらいいなと楽しそうに考えていました。みんな足利が大好きで、この町を活気のある場所にしてずっと住み続けたいんだなと感じる時間となりました。
- ・生徒たちが自分たちの住んでいる街について「自分たちが考えていく必要がある」「自分たちがどんな街にしたいのかを伝えたら、実現するかもしれない」と感じられるいい機会になったと思います。市場の辺りの再開発などに議会での決定が関係していることなどを知り、興味が持てたようです。自分が足利に残るにしても、外に出るにしても、「何か役に立てるように」と考えられた生徒もいたようで、大人になったときに思い出してもらえたらと思いました。自分たちの意見を聞いてもらえたこと、貴重な体験になったと思います。
- ・議員さんに実際にお会いできる機会は貴重であるため、生徒にとって有意義な時間

であったと感じました。また、生徒の意見を肯定的に受け止めてくださりありがとうございました。生徒が活発に意見を共有することができたのは、議員の方々やスタッフの方々の雰囲気づくりのおかげであると思います。

- ・子どもたちは、今まで考えたことのない内容の授業だったので、一生懸命に考え、アイデアを出し合っていました。表情も生き生きしていて、楽しんでおり、郷土愛がこんなにもあるのかと感心しました。ちょうど社会で公民の内容をやっていることもあり、色々なことを感心させていただきました。将来は足利市を盛り上げる仕事につきたいという生徒もいて、うれしく思っています。このような機会をいただき、感謝しております。どうもありがとうございました。
- ・議会や議員の方々のお仕事について考えられる機会となり、大人への第一歩を感じたように思います。社会でも裁判について学んだこともあり、興味深く取り組めたようです。身近なこととして考えられたとの生徒の意見もありました。大変お世話になりました。
- ・生徒たちが生き生きと活動していました。生徒たちからすると「難しそう、自分とは遠いところにあるもの」と思っていた市議会の内容を分かりやすくかみくだいて授業をしてくださったおかげかと思えます。
- ・今回は中学校出張ぎかいを行ってくださりありがとうございました。1時間という短い時間でしたが、生徒はとても楽しく行うことができていたと思います。また、普段はあまり話をしない生徒も頑張ってグループの人と話し合いをすることができていました。
- ・話し合いが上手くいかないグループには議員さんが声をかけ、考えやすくしたり、助言してくださったりして、全員が楽しく1時間を過ごすことができていました。生徒が自由に発言したり、話し合ったりしているのもよかったですと思います。短い時間でしたが、ありがとうございました。
- ・先日は出張授業をしていただき、ありがとうございました。生徒たちも私自身も堅く考えていたところがあるのですが、議員の皆様が優しく接してくださり、今までよりも皆様のことが身近に感じられたような気がします。授業の内容もとても興味深く、生徒たちも自由に考えることができました。発表することで、お互い「なるほど」と感じることもできたり、私も生徒達が普段の生活からそんなことを感じているのかと知ることができました。今回は貴重な時間をいただき、本当にありがとうございました。
- ・大変お世話になりました。普段議員さんと接する機会がないので、とても遠い存在に感じていた生徒もいたようですが、今回DVDを観させていただいたり、お話を聞かせていただいたりして、とても勉強になったようです。生徒たちのアンケートからも授業が楽しかったとたくさんの感想が寄せられました。特にワークショップでは足利市の未来について真剣に考えられたようです。議員さんにはたくさんの期

待があると思いますが、どうぞ健康に留意され、これからもご活躍をお祈りいたします。また、今回の授業を企画、運営して下さった事務局の方々にも大変感謝を申し上げます。

- ・今回初めての出前授業でしたが、市議会の紹介DVDも分かりやすく、実際の議場の映像も見る事ができました。「市議会議員を身近に感じる事ができた。」「はじめに思っていたより話しやすかった。」「議員のたいへんさがわかった。」という感想を多くの生徒が記入しており、地方議会に興味・関心を高めさせるという目的を達成できたと感じました。また、一方的に話を聞くだけでなく、ワークショップ形式の授業であったため、生徒全員がアイデアを出すことができ一人一人が足利の課題に対する認識を深める事ができました。お忙しい中、多くの議員に来校していただき、ありがとうございました。
- ・先日の出張授業では大変お世話になりました。生徒の様子として、普段の授業よりも生き生きとした表情が多く見られました。公民という分野では、どうしても難しく感じる生徒がいますが、今回は自分たちのまちを市長という観点から考える内容もあり真剣に考えていて、でも楽しむことが出来ていたと感じました。また、議員の方々のタイムキーパーについてはとても驚きました。1分や5分といった時間を正確に計り司会進行をされていました。しかし、その中でも意見を発表し合う生徒と実際の議員の方々との交流もあり、貴重な時間だったと感じます。ありがとうございました。
- ・この度はワークショップを開いて下さりありがとうございました。生徒たちも楽しそうに活動する姿が見られました。中学生ではなかなか議会について考えることは難しく、授業でもあまり深く出来なかった分野です。そこを議会の皆様に来校して頂き、直接教えて頂くことで、生徒たちも議会についてや仕事、役割などを知ることが出来たと思います。ご多忙の中、中学生のためにご指導頂きありがとうございました。
- ・なかなか自分の住んでいる町のことを考える生徒が少ない中で、このような貴重な機会をいただき、生徒のためになったと感謝しています。
- ・講師の方々の元気がとてもよかった。
- ・進行がテキパキしていた。
- ・50分間という限られた時間の中で目的を達成させるために、制限時間を設けるなどプランニングがしっかりされていた。
- ・社会科で学習していることと実生活を結び付けて考えられる良い機会だったと思います。普段、疑問に思っていることや考えを直接要望し、現状を答えて下さったので、市も一生懸命に市民のこと考えて下さっていることが伝わったと思いました。身近な自分が生活している足利市について考えるきっかけにもなったと思います。
- ・将来どんな足利にしたいかを将来を担う中学生に考えさせる機会はとても有意義だ

と思った。

- ・ワークショップについて、議員の方々が生徒の意見を遮ることがあまりなく、生徒たちは自由に発言し、発想を広げることができました。

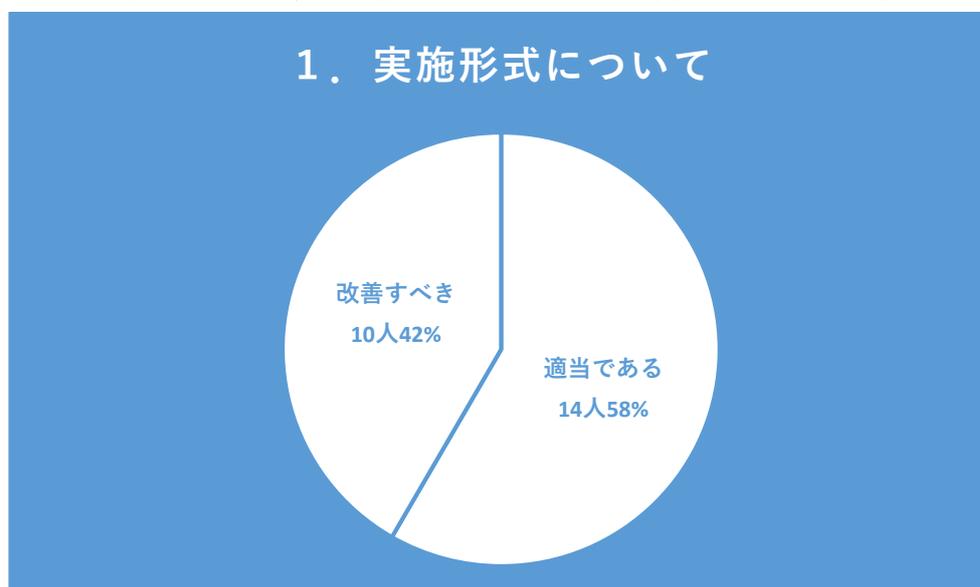
【改善点】

- ・まちづくりに関して議員ならではの考えを聞くことができなかった。議員が要望し、実現したこと等の意味や考えを伝える授業を期待していた。例えば、ワークショップでトイレを増やすという意見が出たが、その件についての課題や議員としてどのように関わり実現することができるのか等に触れることがなかったのは残念であった。授業時間が45分と限られているので仕方がないと思うが、まとめの時間で伝える等、一步踏み込んだ授業を期待する。
- ・中学校3年生の2学期は体育祭や合唱コンクールなどの行事があり、それが終わるとすぐに入試への準備に入り、非常に忙しいです。このような貴重な機会を頂けるのはありがたいことですが、できれば1学期もしくは2学期の初めにできるようご配慮頂けると幸いです。
- ・もっとより具体的な仕事内容や、税金などの使い道、実際はどのようなまちづくりの方向で足利市が動いているか等を教えていただければ、公民の内容とつながり、より深い学びになるのではないかと感じました。
- ・最後の議員さんから生徒への質問の中で、「公園をつくるにあたって財源はどうするか。誰を対象とした公園か。」というものは生徒からすると難しいようでした。その前のグループの話し合いで、そこまで考えるように伝えていただくとスムーズだったかと思います。
- ・もう少し時間があれば、なぜそのアイデアは実現できないのか、実現するためには今後どうすればよいのか等、もっと深く話し合えたのではないかと思います。（そうでないと、好きなことを好きなだけ言って終わる生徒も多いので）
- ・講師の先生方で、もう少し準備や練習をしていただけると1時間の授業がスムーズに流れると思うクラスがありました。また、ある議員さんが「私は子どもがいないことが欠点」というようなことをおっしゃっていました。社会科や他の授業で少子化について学習する際に、未婚であることや子どもがいないことをそのように説明することがないように気をつけていますので、その点につきましてはご配慮いただきたいと思います。
- ・生徒への説明の仕方や指示の出し方を、議員の方々がさらに工夫されると、生徒へ伝わると思いました。
- ・班に1人ファシリテーターとして議員の方が入って活動する方が、より内容の濃いものになると思った。また、議員の方が説明している際、他の議員の方も話をしていて生徒に指示、説明が通らない、入っていない場面があったので、議員側も工夫が必要だと感じた。

- ・議会について紹介するDVD視聴について、分かりやすくコンパクトにまとめてあってよかったが、「議員の一日」とか「条例が制定されるまで」など具体的な活動の様子が分かるとなおよいと思いました。
- ・生徒たちの意見が、お店、スーパー、ゲームセンターなど、普通は民間企業が扱うもので、公企業の範疇を超えているものを挙げる生徒が多かったようです。議員の方がファシリテーターとして「事業の元手は税金になるけど大丈夫かな。」「その地域が本当に必要とするものを考えよう。」というように、適切なお指導をいただきながら進めていただけると、地方自治の在り方について、より深く考え学ぶことができたように感じました。

4 議員の所見

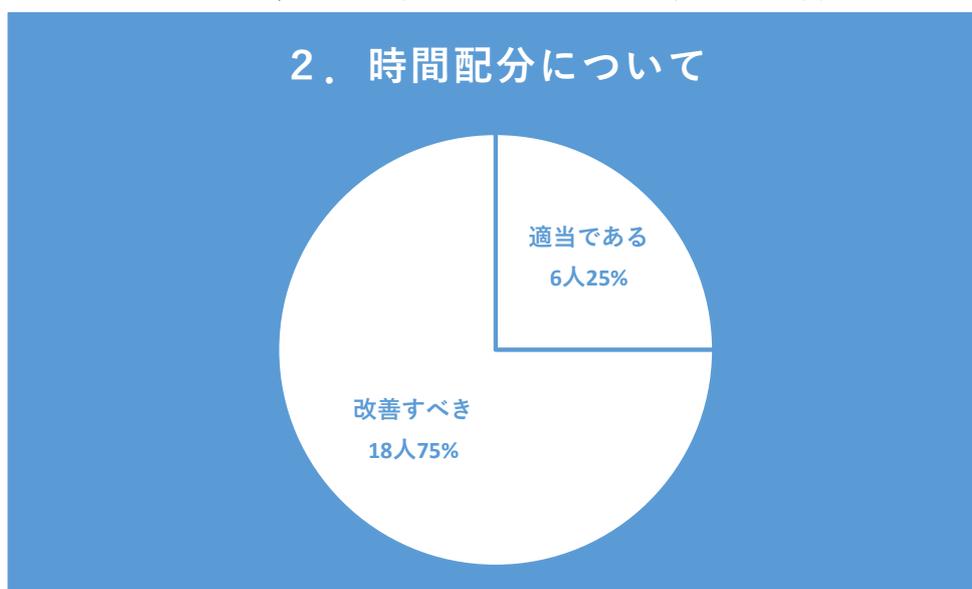
(1) 実施形式について (○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見)



- ワークショップ形式の実施はとてもよいと思うが、もしあなたが市長だったらどんなまちを目指しますかの議題が大きすぎて、ワークショップとしての深掘りや、議会を知るという点では再考する必要があると感じた。
- ワークショップを経験したことのある生徒が少なく、内容を理解してもらう時間も短いため、ワークショップは不向きであると感じた。
- テーマが大きく抽象的すぎたのか、きれいな町にしたいや活気のある町にしたいといったふわっとした回答が多かった。
- 活発な意見交換につなげるためには、もう少しテーマを小さくしたほうがよかった。
- 中学生への助言や発言を促すための働きかけができていなかったと感じた。
- 議員数を増やしたほうがよいと思う。
- テーマ設定は、市全体のことを考える機会を与えるという意味ではよかったと思うが、学校や教育についてなど、身近な分野に絞ってもよいかと思った。

- 生徒の意見出しを促進するために、ワークショップは必要だと思うが、市議会への理解を深めるという目的のためには、改善したほうがよいと思う。
- 最初の説明で、あなたが市長だったらどんなまちを目指しますかというコンセプトを理解していただき、その提案に対してグループ内で議論することが、行政と議会の二元代表制を理解するもとなると思う。
- 中学生から普段足利市に対して感じていることを出してもらい、テーマを決めたほうがよいと思う。
- 目的、内容は良かったと思う。
- ワークショップという形で、受け身ではなく議会について主体的に考える機会が持て、テーマもまちづくりに参加出来るとの議会の可能性と必要性を感じて頂ける入り口となり大変良かったと考える。台本も非常によくできていたので、あとは進んで、各議員の力がどれだけプラスされたかであったと考える。
- テーマが広いため、何を書いたらよいか迷う生徒もいたが、こちらがアイデアを促すことで進めていくことができた。
- 市や市議会についての理解を深めるには、よい実施形式であったと思う。
- ワークショップ形式での実施は、それぞれの生徒の意見が聞くことができて良かった。
- 中学生目線で率直な意見を聞くことができた。
- 基本テーマは良いと思う。
- ワークショップを経験したことがないと言う学校もあったが、生徒は柔軟性がありしっかりと臨んでいた。

(2) 時間配分について (○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見)



- 時間配分は議論の余地ありと感じた。今回の形式のワークショップだとアイデア出しが最も重要で、ワークショップの質を上げることになるため、ここに重点を

置くとよいと思った。

- 時間が短すぎる。
- 少し内容を詰め込みすぎてしまった感じがあった。50分間で遂行しなければならないという議員側の熱量と受け手側の生徒との温度差があり、中にはワークショップの感覚がつかめないまま「？」な表情のまま終わってしまった生徒も見受けられた。
- 事前に黒板に時間配分等を書き出して、生徒に知らせておけば良かった。
- 細かい説明をしても聞こえていなかったり、理解されずに進行されていたような気がした。
- 質疑応答の時間を削るなど、グループ発表の時間を増やしたほうが良いのではないかと思った。
- 授業時間を2コマ使用してワークショップの時間を確保し、発表も全グループで行うようにしたほうが、生徒たちの達成感も得られてよいのではないかと感じた。
- ワークショップの時間がもう少し必要と感じた。
- ワークショップで当局と市議会の両面から考える体験ができ、よかったと感じたが、時間がかかりハードであり、理解が追いついていない生徒が見られた。また、ファシリテーターの技量に依存する部分もあるように感じた。
- 授業時間を2コマに増やす（無理に3年生でなくてもよい）など時間を増やすか、発表を1グループにするなど、ワークショップのやり方を再考する必要がある。
- 紹介ビデオについては、もう少しだけた内容にし、また時間短縮等をしてよいと感じた。
- ワークショップから質疑応答までの時間が短いと感じた。もう少し時間をかけて説明し、ワークショップを行うこと、なるべく多くの班に発表してもらうことができたらよいと思う。
- 45から50分間の授業では内容からみて厳しい。ワークショップを継続して行うのであれば、事前にワークショップを行い、発表を全グループにしてもらったほうがよいと思う。そのような授業のコマが確保できればと思う。
- 50分間のワークショップは、時間配分が難しい。もっと生徒の意見を聞く時間を尊重したい。
- 代表グループの発表に対して、先生や他の生徒からの質問や講評を引き出せたらよかったと反省している。
- 26分間のワークショップを細分化して行ったが、発表者を決めて、後は自由に考えてもらうほうがよかったのではないか。
- アイスブレイク等の時間の見直しが必要だと思う。
- タイトな時間配分かとは思ったが、基準となるタイムスケジュールは必要なので概ねよかったと思う。
- 時間に関しては、学校の授業時間に合わせた配分なので仕方ないと思う。

○一応の目安としては適当と言える。ただ、考える時間が余ったり、発表に時間がかかったり、クラスによって様々なので、最後の質疑応答で調整すれば問題はない。

(3) その他／全般について (○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見)

- K J法のワークショップではアイデアを出しやすくすることが一番大切だと考える。そのため、事前の準備や議題をもう少し細かく設定するなど、準備が必要だと感じた。
- 議会を知るという意味では、よりよいやり方もあるかと思った。ワークショップでは議会の中で何をやっているのかは分かりづらい。しかし、K J法のワークショップは生徒の経験としてはよいと思うため、内容の再確認など、何か改善できるとより学びの多い時間になると感じた。
- 議題がより生徒に近いほうが具体的なイメージが湧きやすく、例えば学校を市に見立てて、これをより改善するためにはどうしたらよいかや、防災などをテーマに絞るのもよいかと思った。
- 足利市議会の紹介ビデオが、正副委員長が話すだけのビデオになっているが、それだとビデオの意味がないと思った。議論をしている写真や動画を背景に、紹介の内容文をナレーションで入れたほうが、現場感やどのような空間でどれくらいの人数で議論しているのかなどが、少しは伝わるかと思った。
- 今回のワークショップは、進行役を議員がやっても、先生がやっても変わらず、議員が行う必要性を感じなかった。
- 事前に生徒に内容を伝えておけば、説明などの時間が短縮できた。
- 市議会への理解を深めたとは思えない。
- ワークショップではなく、対話形式で十分かと考える。
- 今回の内容を継続するのであれば、2限は必要かと思った。また、50分間で行うのであれば、事前に生徒に詳細な資料を配布し、50分間で自分たちが何をしなければいけないのかイメージを描いてもらってから参加していただくか、各グループにファシリテーターが必要かと思う。生徒の表情を見て、自分の意見を書くことを躊躇している子や作業内容が理解できていない子などには、適宜ヒントや声掛けをすれば、もっと沢山の意見が出てくると思った。以前、中学校で開催した別のワークショップに参加した際、各グループにファシリテーターがついており、手が動かなかったり、何をするのか聞いていなかった子に適宜声掛けをした途端に、意見がどんどん出てきている様子を見たためである。
- 何の反応もないグループもあるため、どのような施設が欲しいか、通学路で気になることはないか、欲しいお店は何かなど、具体的に意見を誘導するよう心掛けたほうがよいと思った。
- グループによって進行の仕方もずいぶん違うと感じた。

- 他のグループの進行も出来るだけ見に行き、よい点を取り入れ、短時間で生徒の皆さんに楽しく、そして真剣に取り組んで頂けるよう、研究と工夫をしなくてはいけないと考えた。
- 携帯などで授業の様子をビデオに残すことが可能であれば参考になるのではないか。
- 充実した内容であるがゆえに、時間がタイトで慌ただしさは否めず、生徒が深く考えられる時間的余裕がもう少し必要だと感じる。この度の内容であれば、せめてあと15分ほどいただきたい。
- 次回も事前練習は必要だと考える。また、事務局の負担軽減も検討したほうがよいと考える。
- このようなアンケートは必要であるが、3人1組で行った議員間での検証、または全体での検証を行う必要があると考える。
- もともと、地方自治を学校で習うタイミングが中学3年生のこの時期であったため、それに合わせて開催していたと思うが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染拡大の懸念、受験生の大切な冬季の時間の確保などを考えると、開催時期は冬でなくてもよいと思うし、まちづくりを考えたり、政治を身近に感じてもらうことを目指すのであれば、必ずしも中学3年生を対象としなくてもよいのではないか。
- 質疑応答の時間があまり取れないことが多かったため、ワークショップの中でも担当の全議員が発言できるような構成にしたらよいと思った。
- 学校側で確保できる時間が2時限分あるならば、ワークショップで1時限分、模擬議会のようなもので1時限分とするなど、複数のメニューがあってもよいと思った。
- 時間の関係で発表グループを絞らざるを得なかったが、少し残念というか、同じように頑張ってくれたほかの生徒たちに申し訳なかった。
- 中学校3年生をターゲットにしているが、2年生で経験させ、3年生の公民の授業でさらに勉強するほうがよいのではないか。
- 限られた時間内に授業を収めることが難しく、もう少し時間があればなおよかった。とはいえ、理解が十分であったグループとそうでないグループの差が見受けられ、グループに馴染めない生徒も若干見受けられたが、概ね及第であったと評価できる。
- 高校受験（私立校）を考慮すれば、3年生の12月とは別の時期の開催の検討、また2年生での実施を検討する必要がある。
- 中学校全校が実施していない点が気になった。また、以前の出前授業で協力した学校が、日程の都合かと思うが今回は参加しておらず、教育委員会を通しての広報かと思うが残念だった。
- 子どもたちの感想を聞きたい。議会側の押しつけになっていないかどうかを知りたい。子どもたちの考えていることを知る方法を探る必要があると思う。

- DVD 動画の内容を、委員会で何をどのように決めているのか、委員会とは何かという内容に変えたほうが理解しやすいのではないかと。
- 3人の担当制にしたことで、お互いを補うことができ、適当だったと考える。
- 3校に参加したが、子どもたちと接することができてよかった。
- 市議会を身近に感じてもらうためには、実施してよかったと思う。中学生の意見も大変参考になった。
- クラスによって個性が異なるが、来校3日目からはこちらも対応に慣れてきた。
- いろいろな学校に行き、生徒や学校施設を見ることが出来たことはよかった。
- 中学3年生の公民の授業の一環として出張ぎかいに出向くことは、これからも継続していくことが大切であると考え。政治への期待を持ってもらうことにもつながる取組だと感じている。
- DVD 動画では議会の役割や重要性などを端的に伝えられた。ワークショップでも生徒が主体的にまちづくりを考える貴重な機会を提供でき、また様々な斬新な意見を聞くことができたことも意義深い。
- 引き続き、行うことが望ましいと考える。以前の2人1組で質問を受ける形式よりは、格段によい内容になったのではないかと思う。
- 先生の意見を聞いて実施したい。

5 総括

今回の中学校出張ぎかいを終え、事業の実施に当たりさまざまな課題が見えてきました。今後は、下記の事項に配慮するとともに広報広聴常任委員会として事業の検証及び改善を行い、中学生に対してよりわかりやすく、質の高い事業を実施してまいります。

(1) 実施形式について

- ・生徒が能動的にまちづくりについて考える機会となったことは大変評価されている。
- ・地方議会・地方自治の在り方について、生徒たちがより考えを深めることができるように、テーマについて引き続き検討していく。
- ・生徒たちが活発にワークショップを行えるよう、各クラスの担当議員数について検討する。

(2) 開催時期について

- ・今までは公民の授業で地方自治を学ぶ中学校3年生を対象としていたが、これから高校受験を控えていることなどを考慮し、対象学年の検討や開催時期を検討する必要がある。

(3) 時間配分について

- ・今回のようなワークショップ形式では、50分間、45分間の授業では時間が足りないため、時間配分を検討する。

(4) 議員の心構えについて

- ・限られた授業時間の中で生徒たちがスムーズにワークショップを行えるように、議員側も事前準備に取り組む必要がある。
- ・生徒への説明の仕方や声かけ等について工夫し、多くの生徒から意見を出してもらえるような対応を心がける。